

# Combi

## コンビ チャイルドシート クルムーヴ ロング plus

### 取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

●本書はシート背面のフタ内側にある取扱説明書収納ポケットに保管してください。(6ページ参照)

●品質保証書に、必要事項をご記入ください。

本製品は、UN R129/03において認可されたアイサイズ改良型幼児拘束装置/アイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置です。本製品は車両メーカーによって車両ユーザーマニュアルに記載されているi-Size適合車両着座位置またはISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX取付金具(バー)を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。ジュニアモードでは、UN R16または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式車両シートベルトを装備した車種に限り適しています。ご不明な点がございましたら、当社コンシューマープラザまたは販売店にお問い合わせください。ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書を確認してください。

ご使用の向き		お子さまの条件	
チャイルドモード	後向き	身長：40cm～105cmまで	※体重18kgを超えるお子さまには使用できません。
	前向き	身長：76cm～105cmまで かつ 月齢15か月以上	
ジュニアモード	前向き	身長：100cm～150cmまで	

※ お子さまの体型によっては150cmまで使用できない場合があります。



お使いいただく前に

各部の使いかた

チャイルドモードの使いかた

ジュニアモードの使いかた

お手入れ・その他

**危険**

お子さまの身長が76cmかつ月齢が15ヵ月以上になるまでは、前向きで使用しないでください。

**注意**

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。

# もくじ

## お使いいただく前に

お使いいただく前に	2
各部のなまえ	3
ご使用の条件	7
取り付けできる座席	9
車両シートベルトの種類と使用上の注意 (車両シートベルト使用時)	10
取り付けできない座席	11
安全にお使いいただくために	13

## 各部の使いかた

回転・リクライニングのしかた	21
回転のしかた	23
リクライニングのしかた	25

## チャイルドモードの使いかた

取り付け準備	27
車への取り付けかた	29
取り付け完了チェックのしかた	32
車からの取りはずしかた	33

幼児肩ベルト位置の調節のしかた	35
お子さまの座らせかた	37
お子さまの降ろしかた	40

## ジュニアモードの使いかた

ジュニアモードへの変更のしかた	41
取付準備	45
車への取り付けかた	46
お子さまの座らせかた	49
取り付け完了チェックのしかた	51

## お手入れ・その他

インナークッションの使いかた	52
ベースカバーの使いかた	54
幌の使いかた	55
カバー・ウレタンの取りはずしかた・ 取り付けかた	57
お手入れのしかた	60
保管・廃棄のしかた	61
品質保証書	62
お問い合わせ先	裏表紙

## お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

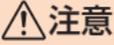
### 〈中古品のご使用について〉

- 使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

### ●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 <b>ワンポイント</b>	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

# 各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

●ご使用前に「品質保証書」に次の項目を記入してください。

- ①製品名とロットNo. (シート背面のフタ内側に貼ってあるシールに記載されています)
- ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③販売店名

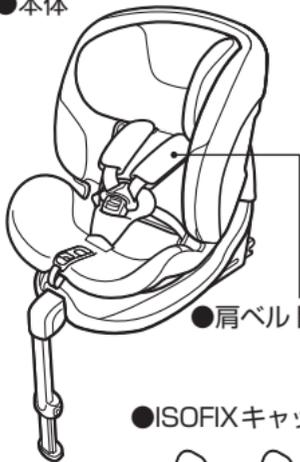
●レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。

※本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

※シートカバー・インナークッション・幌・肩ベルトカバーなどは製品により仕様が異なる場合があります。また、製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

## 梱包内容

●本体



●肩ベルトカバー

●ISOFIXキャップ



●インナークッション

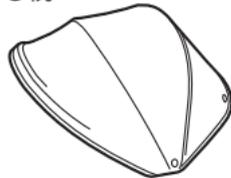


●ベースカバー

「後向き」時に使用します。



●幌



●取扱説明書(本書)



●お客様登録カード



## 正面

本書で使われる「本体」「シート」「ベース」「ヘッドガード」とは、下記の部位をいいます。



股ベルトカバー

差込タング

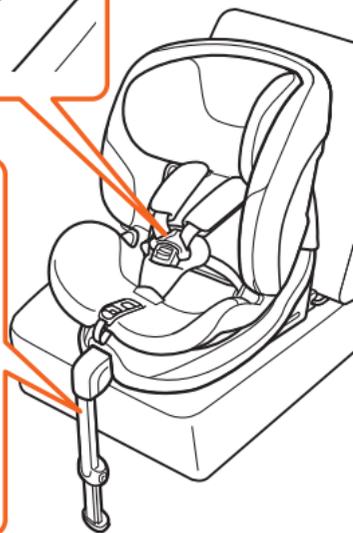
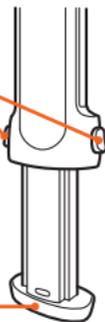
バックル

バックルボタン



ロック解除  
ボタン

レッグエンド



# 各部のなまえ

お使いいただく前に

正面

ヘッドガードカバー



ヘッドガード裏

ヘッド  
ガード  
調節レバー



幼児ベルト

回転レバー



調節ベルト

座面裏

幌



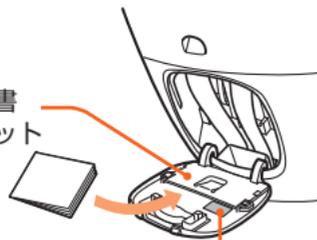
※製品仕様により、形状が異なります。

背面



※シート背面のフタを開けて内側に収納する  
(シートを回転させて開けてください)

取扱説明書  
収納ポケット



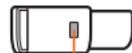
製品名/ロットNo.

側面

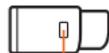


コネクター

コネクター解除レバー



インジケーター  
(緑:ロック)

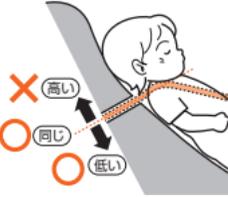


インジケーター  
(赤:ロック解除)

# ご使用の条件

ここでは、お子さまの身長によるシートへの向き、インナークッションの使用条件などを説明しています。

## 後向き(進行方向に対して後向きに取り付け)

お子さまの条件	インナークッションの使用条件	
<p>身長40cm → 身長105cmまで または体重18kgまで</p> 	<p>使用する</p> <p>身長40cm ~ 75cmまでの場合</p>	<p>使用しない</p> <p>身長75cmを超える場合</p>
<p><b>⚠ 危険</b></p> <p>お子さまの身長が76cmかつ月齢が15ヵ月以上になるまでは、前向きで使用しないでください。</p>	 <p>※インナークッションは製品により仕様が異なる場合があります。</p>	 <p>※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。</p>
<p><b>ワンポイント</b></p> <p> お子さまの足が車両背もたれにあたるなど、後向きでの使用が体格に合わないと感じた場合は、前向きで使用してください。</p>	<p><b>⚠ 警告</b></p> <p>必ず<b>インナークッションを正しく取り付けて</b>、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。</p> 	<p><b>幼児肩ベルトの位置について</b></p> <p>インナークッションの使用有無に関わらず、幼児肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置になるように調節して使用してください。</p> 

前向き（進行方向に対して前向きに取り付け）

お子さまの条件		インナークッションの使用条件
<p>チャイルドモード</p> <p>身長 76cm 以上 かつ月齢 15ヵ月以上</p> <p>↓</p> <p>身長 105cm または体重 18kg まで</p>		<p><b>使用禁止</b></p>
		<p>幼児ベルトの位置について</p> <p>幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で使用してください。</p> 
<p>ジュニアモード</p> <p>身長 100cm 以上</p> <p>↓</p> <p>身長 150cm まで</p>		<p><b>⚠ 危険</b></p> <p>お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。</p> <p>【チャイルドモード】 身長 76cm ~ 105cm まで、かつ月齢 15ヵ月以上（※体重 18kg を超えるお子さまは使用できません）</p> <p>【ジュニアモード】 身長 100cm ~ 150cm まで</p>

## 取り付けできる座席

- ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。  
ただし、ISOFIX取付金具（バー）を装備した全ての車両に取り付けられるものではありません。
- ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIXサイズクラスに適合しているかご確認ください。

### ■車種適合の確認

[www.combi.co.jp/store/pages/childseat\\_search.aspx](http://www.combi.co.jp/store/pages/childseat_search.aspx)

コンビ 適合



### ISOFIX取付金具について

ISOFIX取付金具とは、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座面の間に装備された金具（バー）です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。



### ■本製品のISOFIXサイズクラス

チャイルドシートの向き		固定具
チャイルドモード	後向き	R2
	前向き	F2X
ジュニアモード	前向き	B2



**警告**

ご使用の際は、車両の取扱説明書を確認してください。

- ※ジュニアモードにした場合、すべての認可された着座位置に取り付けられるものではありません。
- 後向きでヘッドガードの位置を高くしたときに、前座席にあたる場合があります。その場合は、前座席の位置を調整してください。

# 車両シートベルトの種類と使用上の注意(車両シートベルト使用時)

ジュニアモード(身長:100cm~150cm)で使用する場合

チャイルドシートは、車両シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式車両シートベルトを装備した車種に限り使用できます。

⚠  
危険

- 必ず3点式車両シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式車両シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たせず、大変危険です。

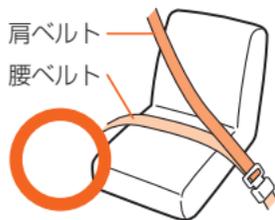
2点式車両シートベルトとは



腰ベルト

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支える車両シートベルトのこと。

3点式車両シートベルトとは



肩ベルト

腰ベルト

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支える車両シートベルトのこと。

車両シートベルトの種類と特徴(見分けかた)		取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に入出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりと車両シートベルトを引き出して取り付けください。
AELR	車両シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。(車両シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	車両シートベルトを全て引き出すと危険です。車両シートベルトを1度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けください。
その他	上記に当てはまらない車両シートベルト。	使用できません。

※ 車両シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

お使いいただく前に

# 取り付けできない座席

次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

- チャイルドモードのみ  
ISOFIX取付金具(バー)が  
装備されていない座席。



- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



- チャイルドモードのみ  
サポートレッグの先端部に座席の**スライドレール**  
や**床下収納スペース**などがある座席。



- フロントエアバッグ**装備の座席。  
※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- 座面の凹凸が極端で、  
取り付けたときに不安定になる座席。



- 床に対して座面が低い座席または高い座席、床  
の形状などにより、**サポートレッグ**を正しく使  
用できない座席。



- ジュニアモードのみ  
車両シートベルトの付いていない座席。



- ジュニアモードのみ  
2点式車両シートベルトの座席。



- ジュニアモードのみ  
車両シートベルトの長さが極端に短い座席。



- ジュニアモードのみ  
パッシブシートベルトの付いた座席。  
※車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



- ジュニアモードのみ  
車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。  
※チャイルドシートの腰部ベルトガイドの位置よりも、前方向から車両シートベルトが出ている座席。



# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- 使用条件に**適合しないお子さまや、取り付けできない座席**などでは、使用しないでください。



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で**取り付けしないでください。**



- チャイルドモードで使用の場合、**車両シートベルトで固定することはできません。**

- フロントエアバッグ装備の座席では、**使用しないでください。**衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

- ジュニアモードで使用の場合、**お子さまを座らせたとき、車両シートベルトの車両差込金具が車両バックルに正しく差し込まれており、はずれないことを確認してください。**



## ⚠ 危険

- お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰、正座をしないように注意してください。



- チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニングや回転の操作ができない、またはロックできない場合があります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、取りはずせない場合は他の座席に取り付けてください。

## ⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、(ジュニアモードで使用の場合は車両シートベルトをはずして) すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



# 安全にお使いいただくために

## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- お子さまが座っていないときでも、コネクター(チャイルドモード使用時)または車両シートベルト(ジュニアモード使用時)で固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



- 緊急時に同乗者の脱出のさまたげになる座席には、チャイルドシートを取り付けしないでください。



- チャイルドモードで使用の場合、幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



**警告**

- チャイルドモードで使用の場合、調節ベルトがシートカバーに固定されていない状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- チャイルドモードで使用の場合、お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タンクがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の働きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。



- チャイルドモードで使用の場合、バックルにゴミ・飲食物などが詰まって**確実に差し込めない**場合、または**解除しにくい**場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- チャイルドモードで使用の場合、**幼児ベルトに傷**がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- ジュニアモードで使用の場合、車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けられないでください。



- ジュニアモードで使用の場合、チャイルドシート固定機能付き車両シートベルトのときは、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。



# 安全にお使いいただくために

## ⚠️ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です

- チャイルドシートを**車両のシート可動部やドアにはさまない**ように、十分注意してください。



- 直射日光があたると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまが**ヤケド**をするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 固定されていない物を車内に置く**場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、**十分注意**してください。

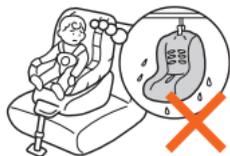


- 走行中は**、チャイルドシートの操作や**調節をしない**でください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。

- チャイルドシートを通常のごくとして使用すると、**転倒してケガ**をするおそれがあります。本書に記載されていない**使いかた**をしないでください。



- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材は**はずしたまま使用**しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。



- 座席の表皮素材(革など)や形状によっては、**座席に傷や跡がつく**おそれがあります。

- お子さまを乗せた状態で、**取り付け・取りはずし・持ち運び**はしないでください。

**⚠ 注意**

- 車両座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。



- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。
- 幼児ベルトを持ってチャイルドシートを持ち運びしないでください。

# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 日常の点検

チャイルドシートの本래の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

### ●チャイルドモード

チャイルドシートが**車両座席にしっかりと固定されていること** (前後左右にゆすり、確認してください)

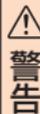
幼児ベルトがお子さまの体に**フィットしていること** (調節ベルトを引いてフィットさせてください)

差込タングがしっかりとバックルに差し込まれていること

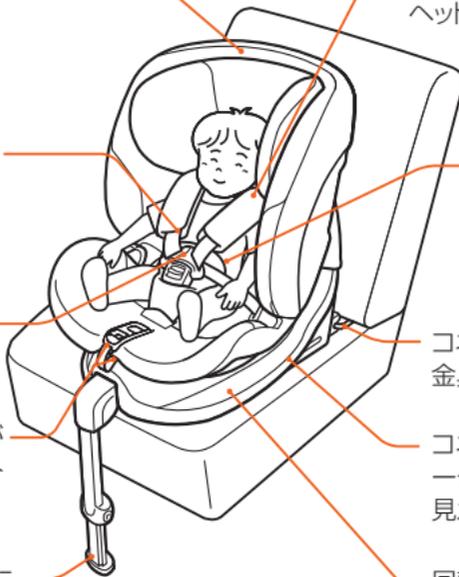
回転 / リクライニングのレバーが正規の位置に戻っていて、シートが確実に固定されていること

レッグエンドが床につくように、サポートレッグの長さが調節され**インジケーターが緑に見える状態**になっていること

幼児ベルトが正しい位置になるようにヘッドガードが調節されていること



- 幼児ベルトに**ねじれやたるみがないこと**。
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず**幼児腰ベルトを低く下げる**こと。



コネクターが車両の ISOFIX 取付金具にしっかりと固定されていること

コネクター解除レバーのインジケーターが**ロック状態** (緑色の表示が見える状態) になっていること

回転 / リクライニング操作後、シートが**ロックされ**確実に後向きまたは前向きになっていること

※イラストはチャイルドモード  
前向き使用例

## ⚠ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

### ●ジュニアモード

「※」がある場合、46ページ車両への固定方法Aで取り付ける場合の確認項目です。

車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。  
また、肩からはずれていないこと。

※チャイルドシートが車両座席にしっかりと固定されていること。(ベースを前後左右にゆすり、確認してください)

**⚠ 警告**

- 車両シートベルトがお子さまの体に密着して**ねじれやたるみがないこと。**
- 車両シートベルトがお子さまの**骨盤を押さえていること。**



※コネクターが車両のISOFIX取付金具にしっかりと固定されていること。

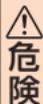
※コネクター解除レバーのインジケーターがロック状態(緑色の表示が見える状態)になっていること。

サポートレッグが収納されていること。

回転/リクライニングのレバーが正規の位置に戻っていて、シートが確実に前向きに固定されていること。

※車両シートベルトの車両差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。

# 回転・リクライニングのしかた



お子さまを乗せた状態で、シートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たせず危険です。

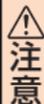
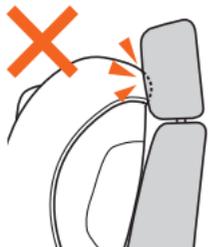


チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかって回転・リクライニング操作ができない場合があります。

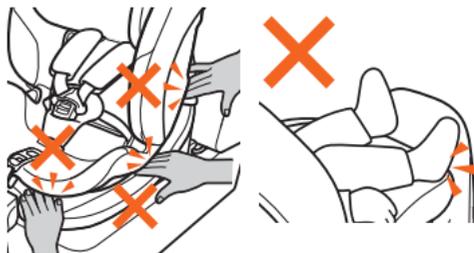
●無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。

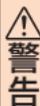
●車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。

※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。

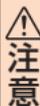


- シートの背部や下部のすき間に指や手などを入れたまま、回転・リクライニング操作をしないでください。
- 「後向き」使用時、回転・リクライニング操作の際にお子さまの足が本体とベースのすき間にはさまらないように注意して行ってください。
- 同乗者の手元にも十分ご注意ください。
- リクライニング操作は、必ず車を停車させて行ってください。
- ベースのすき間にゴミや飲食物などの異物が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。回転およびリクライニング操作を行う際、動作不良が生じた場合は当社コンシューマープラザまでお問い合わせください。



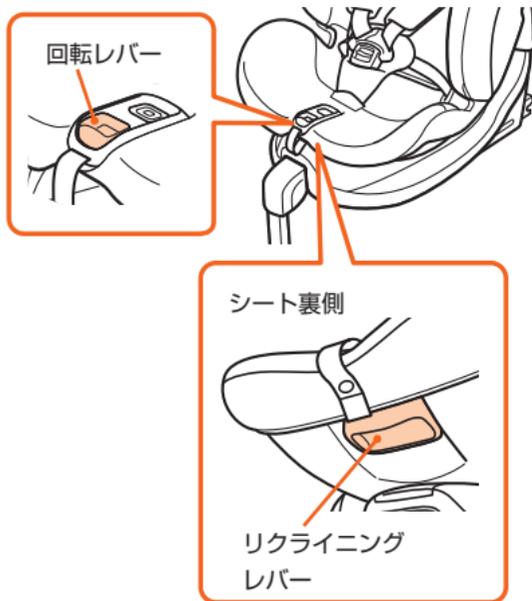


操作後に、「カチッ」と音がしてシートが元の位置に戻り、ロックされていることを確認してください。シートがロックされていない状態で使用しないでください。



回転・リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。

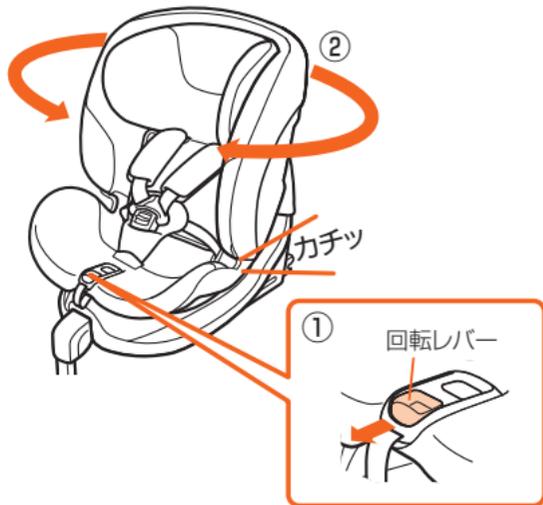
回転レバーとリクライニングレバーの位置



# 回転のしかた

お子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転することができます。

- 1
- ①シート前側にある回転レバーを引きながら、シートをまわす。
  - ②動き始めたら回転レバーから指を離し、シートが「後向き」または「前向き」になると、「カチッ」と音がしてロックする。



⚠  
危険

- お子さまを乗せた状態で、シートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たせず危険です。
- 走行中は回転操作をしないでください。

⚠  
注意

- ベースとシートのすき間が狭くなっているため、回転操作時は手をはさまないようにお子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

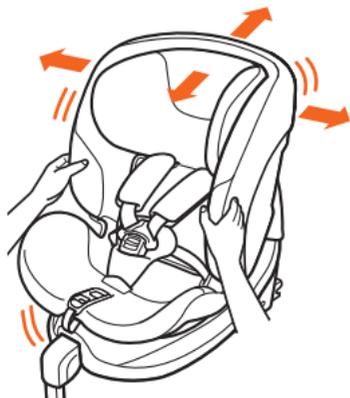
ワンポイント



車両に当たり回転できない場合は、ヘッドガードの高さを調節して回転操作を行ってください。  
(ヘッドガードの高さの調節のしかたは36ページの手順2参照)

**2** シートを前後左右に動かし、確実にロックされていることを確認する。

※回転構造上シートに遊びがあり、カタカタと音がしますが、問題なく使用できます。

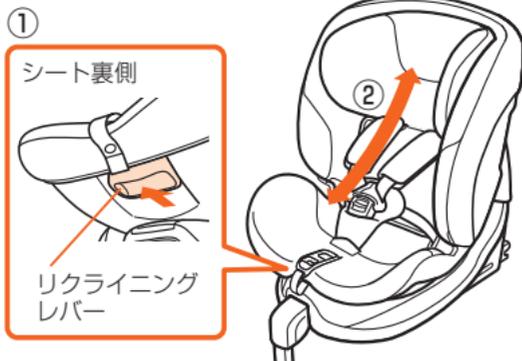


操作後に、「カチッ」と音がしてシートが元の位置に戻り、ロックされていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

# リクライニングのしかた

お子さまの様子にあわせて、4段階に角度を調節することができます。

- 1** ①本体シート下にあるリクライニングレバーを手前に引きながら、  
②シートのリクライニング角度を調節する。(前向き/後向きともに4段階)



**危険**

ジュニアモード使用時は、最も起きた角度(1段階目)か1段階寝かせた角度(2段階目)以外では使用しないでください。本来の機能を果たせず危険です。

**注意**

- リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

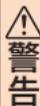
			
		起きている	← 寝ている
チャイルドモード		※イラストは前向き例です。	
	後向き	1	2 3 4
	前向き	1	2 3 4
ジュニアモード		1	2 × ×
	前向き		

ワンポイント



- 「後向き」使用時は、製品仕様上、リクライニングレバーの操作ができない構造です。レバーを操作できる位置までシートを回転させ、リクライニングの角度を調節してください。
- 「後向き」使用時は、リクライニング角度が4段階あります。段階がわかりにくい場合は、1段階操作後に一度レバーから手を離すと確認しやすくなります。

**2** レバーから指を離してシートを前後左右にゆすり、ロックされていることを確認する。



警告

操作後、リクライニングレバーが元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

# 取り付け準備



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- チャイルドモード使用時は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
- チャイルドモード使用時はサポートレッグを収納状態のまま、取り付けないでください。

下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。

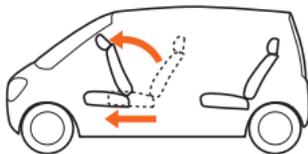
[www.combi.co.jp/soudan/after/manual\\_dvd.html](http://www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html)



- 1** ①取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。

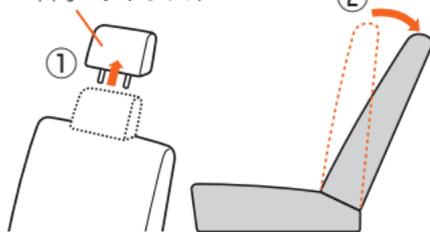


- ②車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。



- 2** ①車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。  
※取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
- ②車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。

車両ヘッドレスト

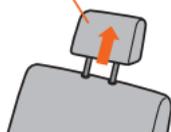


ワンポイント



車両ヘッドレストが取りはずせない場合は、1番上まで上げてください。

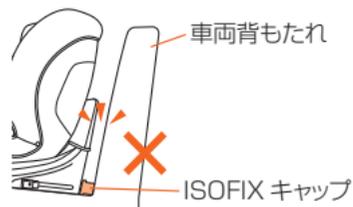
車両ヘッドレスト



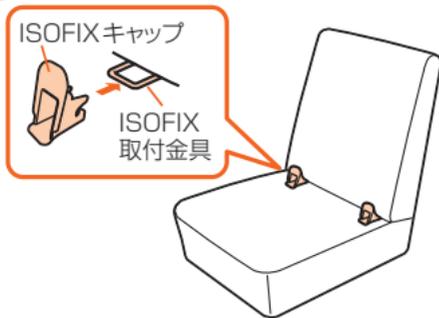
ワンポイント



ISOFIX取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによっては取り付けるとベース背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



### 3 ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



ワンポイント



チャイルドモードの際、シートは後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは同じです。



# 車への取り付けかた

車両の取扱説明書でISOFIX取付金具の装備された座席と金具の位置を確認してください。

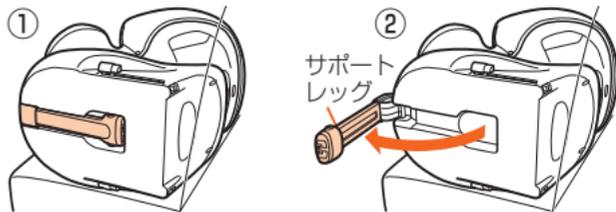
本製品は、後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、取り付けかたは同じです。

※ベースカバーを取り付けてから、チャイルドシートを車両座席に取り付けてください。(54ページ参照)

- 1**
- ①車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、(27ページ手順2参照)
  - ②車両背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけすき間が小さくなるよう、リクライニング角度を調整してください。



- 2**
- ①作業スペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
  - ②サポートレッグを手前に引き出し、ベースからはずす。



- ③本体を起こし
- ④本体側面のコネクター解除レバーを押しながら、左右のコネクターを最大まで引き出す。



**危険**

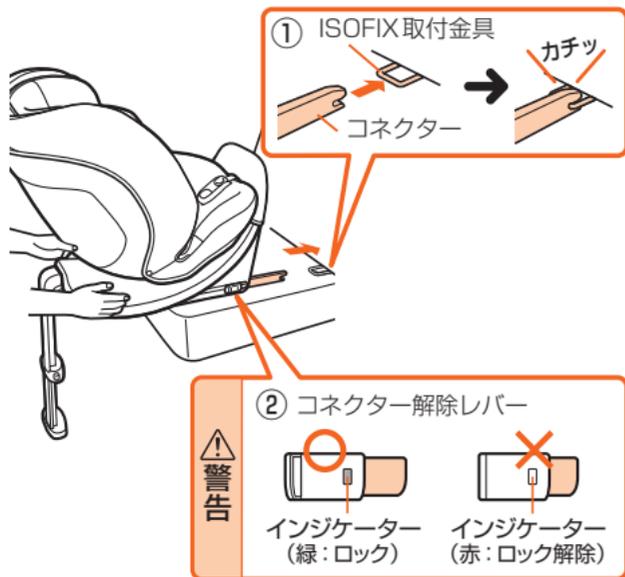
チャイルドモードでは、サポートレッグを必ず引き出してください。



**警告**

サポートレッグ操作時は、手、指などははさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。

- 3** ①左右のコネクターを車両のISOFIX金具に「カチッ」と音がするまで差し込む。  
②左右のコネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



## ワンポイント

ISOFIX 取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、「取り付け準備」ISOFIX キャップの使い方をご確認ください。(28 ページ手順 3 参照)

- 4** ベース背面が車両背もたれに接するよう、左右片側ずつ調節する。

- ①ベース側面を持ち、ベース背面が車両背もたれに接し「カチッ」と音がするまで押し込む。  
反対側も同様に押し込み、左右均等に車両背もたれに接するよう調節する。  
②再度コネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。

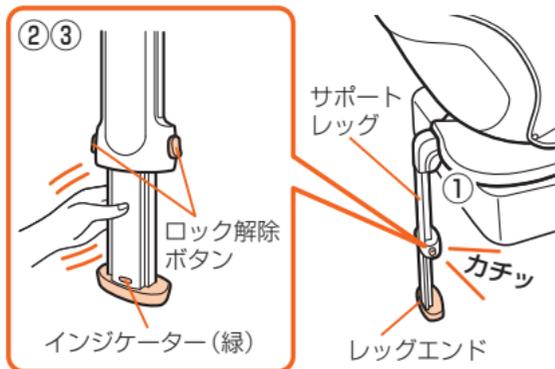


## ワンポイント

車両によっては、しっかり押し込んでもベース背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。車両背もたれがリクライニングできる場合はできるだけすき間が小さくなるよう、リクライニング角度を調節してください。

## 車への取り付けかた

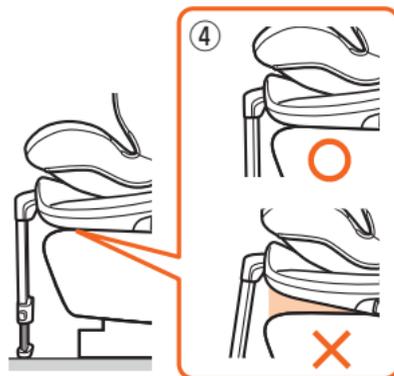
- 5** ①サポートレッグ側面にあるロック解除ボタンを押しながらレッグエンドを車両の床まで伸ばす。
- ②インジケーターが緑になり、ロック解除ボタンが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認する。
- ③実際に手で上下に動かしレッグエンドが縮まずに確実にロックされていることを確認する。



### ワンポイント

- レッグエンドを床まで伸ばしたとき、ロック解除ボタンから「カチッ」と音がせずロックされなかった場合には、レッグエンドを下に伸ばし最初に「カチッ」と音がしてロックした位置でご使用ください。

- ④サポートレッグの長さが長すぎて、本体が車両シートから浮いてすき間が発生していないか確認する。



- 調整後は、サポートレッグのレッグエンドが必ず床についていることを確認してください。
- サポートレッグはしっかり引き出した状態で床につけてください。

### 危険



# 取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ①コネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていること。
- ②サポートレッグのレッグエンドが車両の床につくように長さが調節され、インジケーターが「緑色」になっていること。
- ③コネクターの長さが左右同じ長さであることを確認する。
- ④ベースを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていることを確認する。
- ⑤ベース背面が左右均等に車両背もたれに接しておらず、極端に進行方向に斜めに取り付けられていないか確認する。左右不均衡であったり、斜めに取り付けられている場合は、左右均等に車両背もたれに接するように調節する。

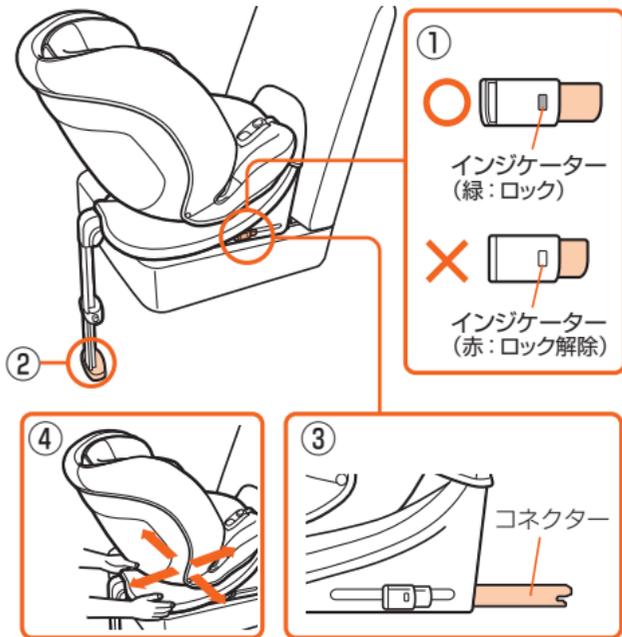
ご不明な点は、当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

## ワンポイント



車両によってはシートのみひっかけなどがインジケーターを隠し、目視での確認が困難な場合があります。

その際は、ISOFIX 取付金具へコネクターを差し込み時に左右のコネクターが「カチッ」と音がするまで差し込まれたことを確認してください。その際にベースを持ち前方向に引っ張り、ベースが動かず左右差による斜め取り付けがなく、しっかり取り付けられていることを確認した後に、②③の完了チェックを行ってください。



①

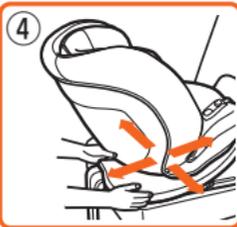


インジケーター  
(緑: ロック)

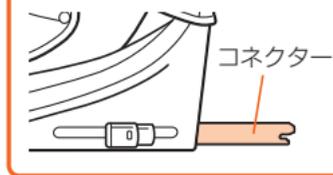


インジケーター  
(赤: ロック解除)

②



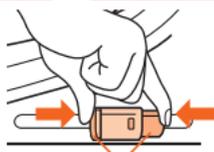
③



# 車からの取りはずしかた

- 1** 左右のコネクター解除レバーを押し、インジケーターがロック解除（「赤色」）の表示が見える状態になっていることを確認する。

- 2** ISOFIX 取付金具からコネクターをはずす。



コネクター解除レバー両側を押す

コネクター解除レバー



インジケーター  
（緑：ロック）



インジケーター  
（赤：ロック解除）

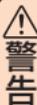
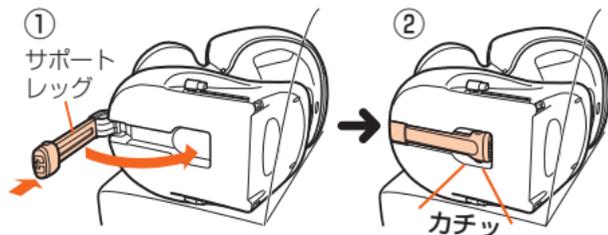


ISOFIX 取付金具

コネクター

### 3 サポートレッグを収納する。

- ①作業スペースを十分に確保し本体を横に寝かせる。  
サポートレッグを最短まで押し込み、折りたたむ。
- ②ベースにサポートレッグが「カチッ」と音がするまで押し込み、収納する。



サポートレッグ操作時は、手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。

# 幼児肩ベルト位置の調節のしかた

お子さまの成長にあわせ、幼児肩ベルトの位置を変えて使用します。幼児肩ベルトの位置は、12段階に調節することができます。

## 幼児肩ベルト位置の目安

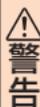
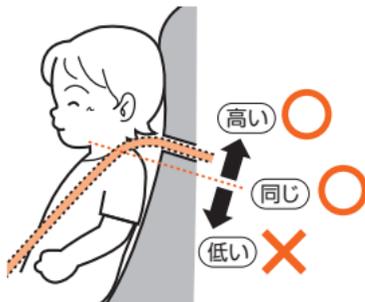
### ●後向き使用時

インナークッションの使用有無に関わらず、幼児肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置になるように調節して使用してください。



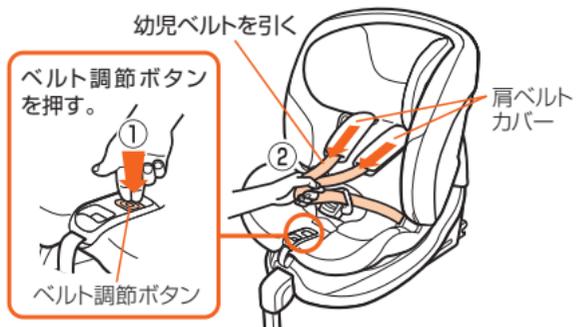
### ●前向き使用時

幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で使用してください。



幼児肩ベルト位置（ヘッドガードの高さ）を調節すると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。  
お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置（ヘッドガードの高さ）を調節しないでください。

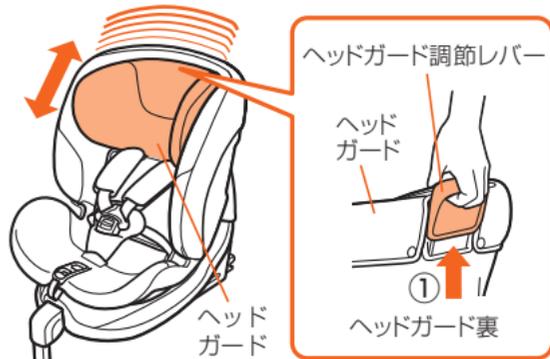
- 1** ①ベルト調節ボタン押しながら、  
②左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引きゆるめる。  
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



ワンポイント

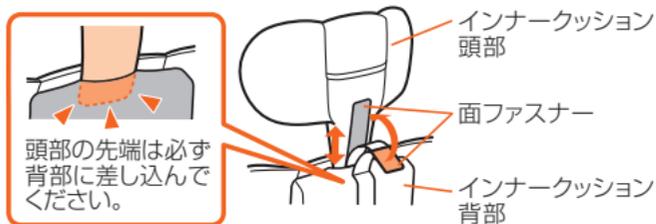
- ① 幼児ベルトが引き出しにくい場合はベルト調節ボタンを押しながら、片側ずつ強く引いてください。

- 2** ①ヘッドガード調節レバーを引きながら、適切な位置にヘッドガードの高さを調節する。  
②ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。



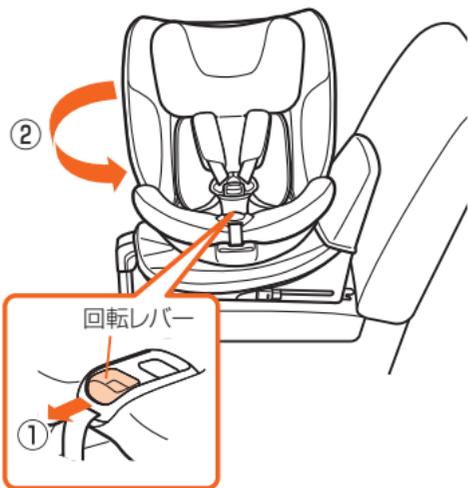
●インナークッション使用時

ヘッドガードの高さを調節する際は、インナークッション頭部と背部をつなぐ面ファスナーの位置を調節し、インナークッション頭部の高さを調節してください。

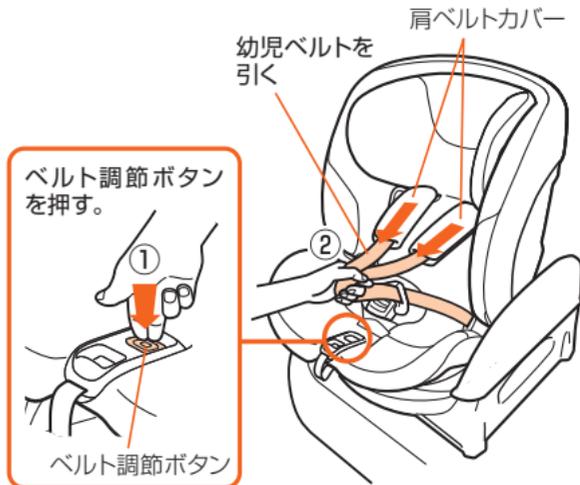


# お子さまの座らせかた

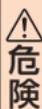
- 1 お子さまを乗せやすくするため、  
①シート前側の回転レバーを引きながら、  
②シート正面をドア側にまわす。



- 2 ①ベルト調節ボタンを押しながら、  
②左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引きゆるめる。  
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



チャイルドモードの使いかた



お子さまを乗せた状態で、シートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たせず危険です。

- 3** ①バックルボタンを押し、差込タンクをバックルからははずす。  
 ②お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。  
 ③左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。

インナークッション使用の場合には、以下にご注意ください。

- ② お子さまを深く座らせてください。幼児ベルトなど正しい装着がしやすくなります。



- ③ 左右の幼児ベルトがねじれていないこと



ワンポイント



シート正面をドア側に回転させた状態でもリクライニングの操作ができます。

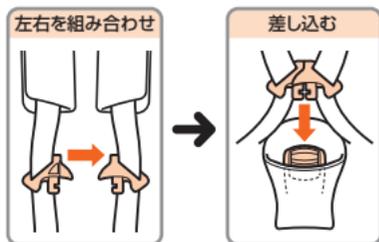
**警告**

- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。しっかりと拘束出来ない場合があります。
- おくるみなど、両足が分かれぬ衣類の着用はおやめください。
- お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
- お子さまを座らせるときには、右図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たせず、危険をまねくおそれがあります。



## お子さまの座らせかた

- 4 左右の差込タンクを組み合わせ、「カチッ」と音がするまで、バックルに差し込む。



チャイルドシートの差込タンクがしっかりバックルに差し込まれていることを確認してください。

ワンポイント



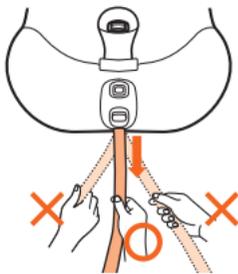
- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。
- 左右の差込タンクを組み合わせないと、バックルに差し込めません。

- 5
- ① 幼児腰ベルトは、骨盤をしっかり拘束するように、低く下げる。
  - ② 幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
  - ③ 調節ベルトを手前に引き、
  - ④ お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手ひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。



# お子さまの降ろしかた

- 必ず幼児ベルトの長さをねじれやたるみがないように調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。
- 横向きで調節ベルトを引く際は、まっすぐ手前に引いてください。斜めにひくとベルトを傷め、お子さまをしっかりと拘束できなくなる可能性があります。



6 シートを後向き、または前向きにまわす。

- ①ベルト調節ボタンを押しながら、
- ②左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引きゆるめる。  
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- ③バックルボタンを押し、差込タンクをバックルからははずす。



- ④お子さまを降ろす。

# ジュニアモードへの変更のしかた

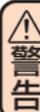
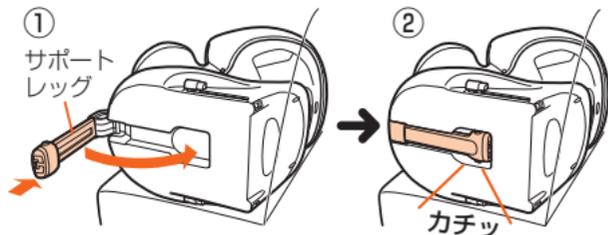
ジュニアモードでは、以下の2通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長 100cm～150cmまで		
お子さまの拘束方法	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
車両への固定方法	A	B
	コネクターと車両シートベルトで取り付けます。	お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。
変更のしかた	下記の1～7の手順で操作を行ってください。	
		コネクターを収納してください。

## 変更のしかた

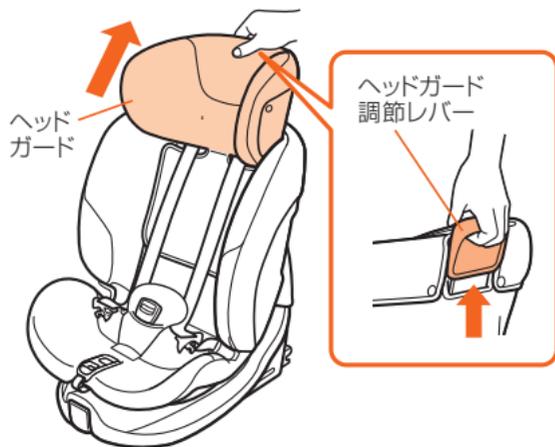
- 1** ①左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引き、幼児ベルトが引けなくなるまで引き出す。  
(36ページ手順1参照)  
②差込タンクをバックルからはずし、肩ベルトカバーを取りはずす。(59ページ参照)  
※ジュニアモードではインナークッションを使用しないでください。

- 2** サポートレッグを収納する。  
①作業スペースを十分に確保し本体を横に寝かせ、サポートレッグを最短まで押し込み、折りたたむ。  
②ベースにサポートレッグが「カチッ」と音がするまで押し込み、収納する。



ジュニアモードでは、サポートレッグを必ず収納してください。

- 3** ヘッドガード調節レバーを引きながら、ヘッドガードを最上段まで引き上げる。

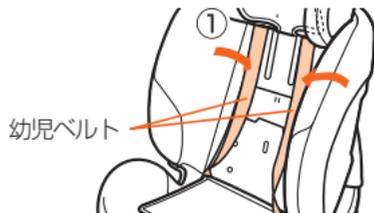


- 4** ①ヘッドガードカバー下部をめくり上げ、  
②シートカバー（背面）上部左右2カ所の取付ゴムをはずし、手前に引いておく。



## ジュニアモードへの変更のしかた

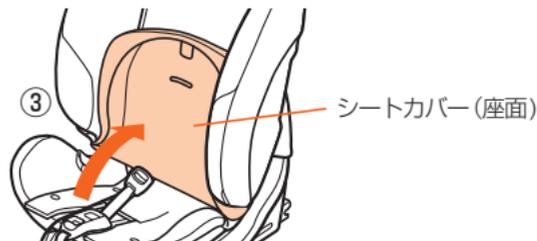
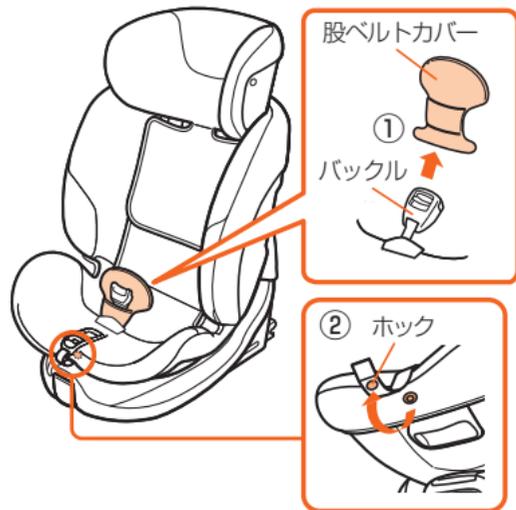
- 5** ①幼児ベルトをシートカバー（背面）の下に移動させる。  
②シートカバー（背面）上部左右2カ所の取付ゴムを取り付ける。  
③ヘッドガードカバー下部を戻す。



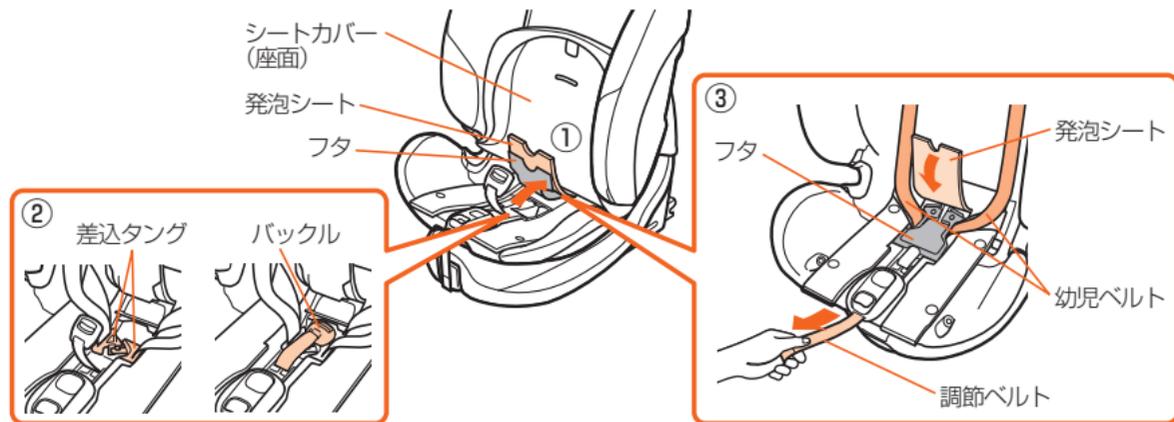
ヘッドガードカバー下部



- 6** ①股ベルトカバーを取りはずす。  
②調節ベルト先端のホックをははずす。  
③シートカバー（座面）をめくる。



- 7** ①座面中央の発泡シートをめくり、収納部のフタを開ける。  
 ②収納部手前側に差込タンク、奥のくぼみにはめ込むようにバックルを収納する。  
 ③フタを閉じ、幼児ベルトがフタの左右から斜めに出るように調整する。  
 発泡シートを戻し、幼児ベルトにたるみがある場合は、調節ベルトを引いてたるみをとる。  
 ④シートカバー（座面）を戻し、調節ベルト先端のホックをとめる。



### 車両への固定方法Bの変更のしかた

- 8** 固定方法Bで使用する際は、左右のコンネクターの収納を行う。本体側面のコンネクター解除レバーを押しながら、左右のコンネクターを止まるまで収納する。



## ジュニアモードへの変更のしかた

チャイルドモードへの戻しかたは、「ジュニアモードへの変更のしかた」(41ページから44ページの逆の手順を行ってください。)

### 注意

- 取りはずしたインナークッション、肩ベルトカバー、股ベルトカバーを車内に放置しないでください。  
車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。
- 取りはずしたインナークッション、肩ベルトカバー、股ベルトカバーを紛失しないよう、大切に保管してください。
- チャイルドモードへ戻す際は、インナークッション、肩ベルトカバー、股ベルトカバーがすべて取り付けられているか確認してください。
- チャイルドモードへ戻す際は、バックルが収納されていないことを確認してください。

●インナークッション



●肩ベルトカバー



●股ベルトカバー



## 取付準備

### 危険

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

### 警告

車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

チャイルドモードと同様の手順で取り付け準備をする。「チャイルドモードの使いかた／取り付け準備」(27ページ参照)

ジュニアモードでは、以下の2通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長 100cm ~ 150cmまで		
お子さまの拘束方法	車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
車両への固定方法	A	B
	コネクタと車両シートベルトで取り付けます。	お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。

## Aの取り付けかた

車両の取扱説明書でISOFIX取付金具の装備された座席と金具の位置を確認してください。

- ①左右のコネクタを車両のISOFIX金具に「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ②左右のコネクタ解除レバーのインジケータが「緑色」になっていることを確認する。



ワンポイント

 ISOFIX取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、「取り付け準備」ISOFIXキャップの使い方をご確認ください。(28ページ手順3参照)

 危険

コネクタを使用することで、車両シートベルトや車両バックルの取り付けの妨げになる場合は、コネクタを使用せず、車両シートベルトだけで取り付けてください。

## 車への取り付けかた

### 2 ベース背面が車両背もたれに接するよう、左右片側ずつ調節する。

- ①ベース側面を持ち、ベース背面が車両背もたれに接し「カチッ」と音がするまで押し込む。  
反対側も同様に押し込み、左右均等に車両背もたれに接するよう調節する。
- ②再度コネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。

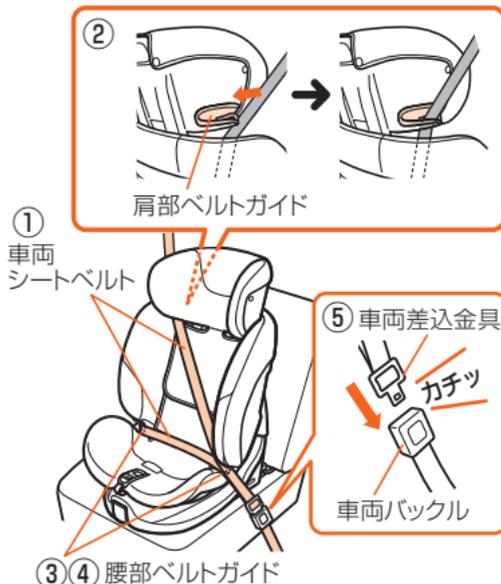


ワンポイント

車両によっては、しっかり押し込んででもベース背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。車両背もたれがリクライニングできる場合はできるだけすき間が小さくなるよう、リクライニング角度を調節してください。

### 3 車両のシートベルトで固定する。

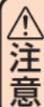
- ①車両シートベルトを引き出す。
- ②車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
- ③車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
- ④肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
- ⑤「カチッ」と音がするまで車両差込金具を車両バックルに差し込む。



## Bの取り付けかた

**1** 左右のコネクターを収納する。  
「車両への固定方法Bの変更のしかた」(44ページ参照)

**2** 車両シートベルトで固定する。  
「車両シートベルトで固定する」  
(47ページ3の手順参照)  
※ISOFIXキャップが取り付けの妨げになる場合は、ISOFIXキャップをISOFIX取付金具からはずしてください。



急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、お子さまを座らせていないときでもチャイルドシートを固定してください。



●車両バックルや車両差込金具が製品本体にあたり車両シートベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。ご不明な点は当社コンシューマーブラザへお問い合わせください。

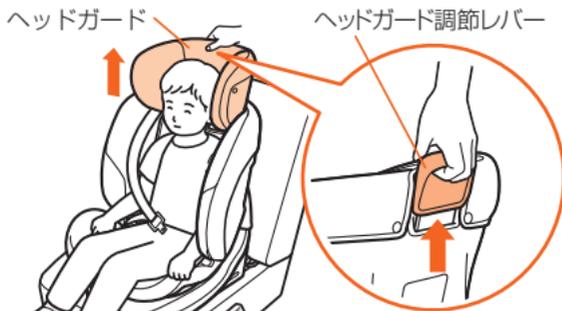


●腰ベルトガイドへの車両シートベルトは正しく通してください。誤った通し方をすると本来の機能を果たせず危険です。正しい通し方をよく確認し、使用してください。



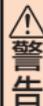
# お子さまの座らせかた

- 1 車両差込金具を車両バックルからいったんはずし、お子さまを深く座らせ、ヘッドガードの高さをお子さまにあわせて調節します。(36ページ手順2参照)



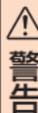
## ヘッドガード(肩部ベルトガイド)の高さの目安

肩部ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。



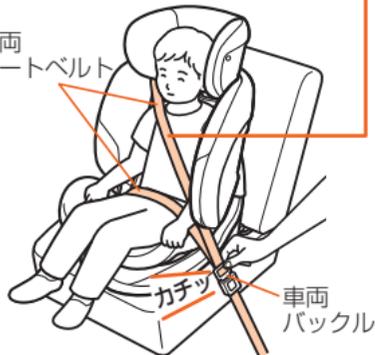
肩部ベルトガイドは、車両シートベルト(肩部)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩部ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドガードの高さを調節し直してください。

- 2
- ①車両シートベルトを引き出す。
  - ②車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
  - ③車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
  - ④肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
  - ⑤「カチッ」と音がするまで車両差込金具を車両バックルに差し込む。



- 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- 車両シートベルト(腰部)は必ずお子さまの骨盤を押さえるようにすること。

車両  
シートベルト



### 3 車両シートベルトがたるんでいる場合は、車両シートベルト（肩部）を上へ引いて張り具合を調節する。



●ジュニアモードでは、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車両座席からすれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せおろしをしてください。

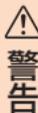
●お子さまを下図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たせず、危険です。

・のけぞる、前かがみになる。

・お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。

・中腰・正座・立てひざなどをする。

●お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



# 取り付け完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

車両への取り付け方法Aは①～⑨を確認

車両への取り付け方法Bは①～⑦を確認

- ①車両座席の背もたれとチャイルドシートの間になすき間がないこと。
- ②車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ③車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ④車両シートベルトがお子さまの骨盤を押さえていること。
- ⑤車両シートベルトの車両差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑥車両シートベルトが左右の腰部ベルトガイドを通っていること。
- ⑦サポートレッグが収納されていること。
- ⑧コネクター解除レバーのインジケータがロック状態（緑色の表示が見える状態）になっていること。
- ⑨ベース背面が左右均等に車両背もたれに接するよう調節し、進行方向に対してまっすぐになっていること。（コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。）



お子さまの身長によって使いかたが異なります。

## 後向き (進行方向に対して後向きに取り付け)

使用する

使用しない

身長40cm～75cmまでの場合

身長75cmを超える場合



※インナークッションは製品により仕様が異なる場合があります。

※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。



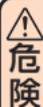
### 警告

必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。

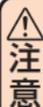


## 前向き (進行方向に対して前向きに取り付け)

使用禁止



インナークッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たせず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。



はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。

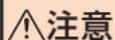
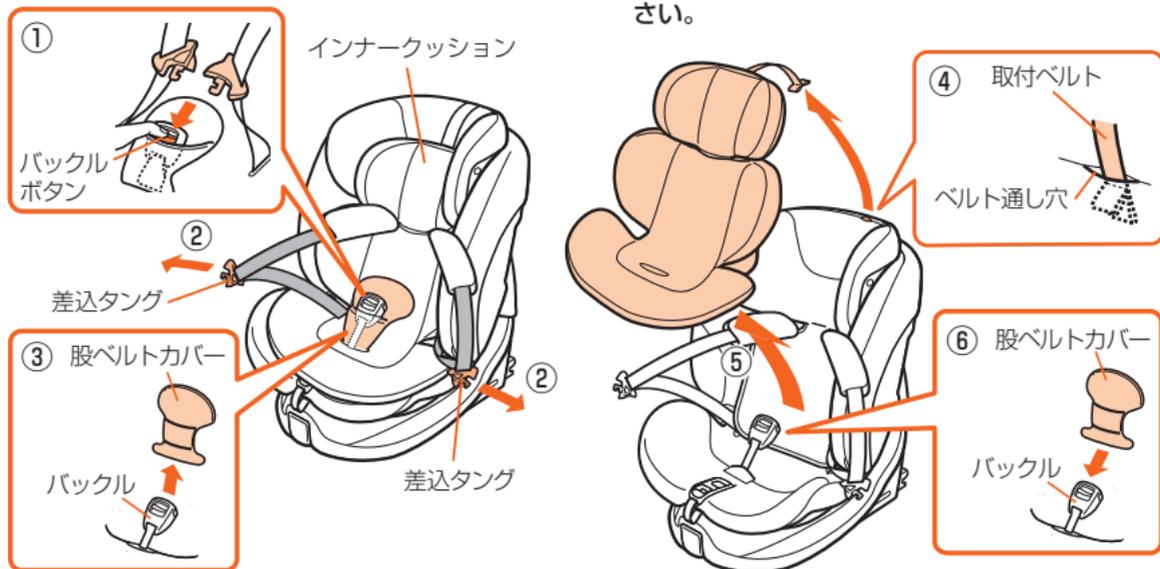
# インナークッションの使いかた

## インナークッションの取りはずしと取り付け

- ①バックルボタンを押し、差込タンクをはずす。
- ②幼児ベルトと差込タンクは外側に出しておく。
- ③股ベルトカバーを取りはずす。

- ④ヘッドガード上部のベルト通し穴からインナークッション取付ベルトを引き抜く。
- ⑤インナークッションを取りはずす。
- ⑥股ベルトカバーを取り付ける。

※取り付けは取りはずしの逆の手順で行ってください。

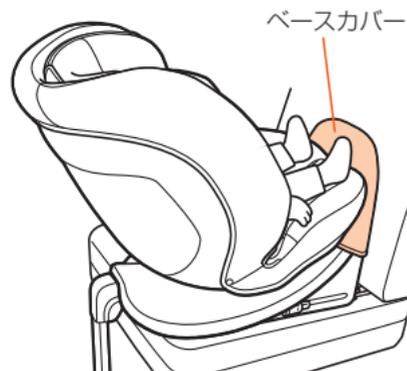


**注意**

インナークッションを洗濯する際は、頭部と背部のウレタンをはずしてください。

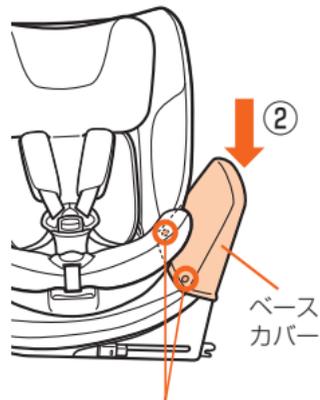
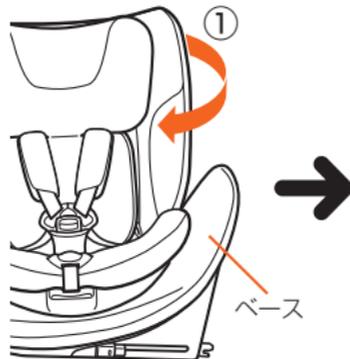
後向き使用の際、ベースカバーを使用し足を保護してください。

※ベースカバーを取り付けてから、チャイルドシートを車両座席に取り付けてください。



ベースカバーを取り付ける。

- ①シートを回転させ横向きにする。(23ページ参照)
- ②ベースカバーをベースにかぶせ、下部にあるベースカバー取付ホック(2カ所)で取り付ける。

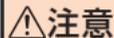


ベースカバー取付ホック  
※ベースに2カ所あります。



**警告**

「後向き」使用時は、必ずベースカバーを使用してください。



**注意**

ベースカバーを取り付けない状態でベースを素足で蹴ったりこすったりすると、足にすり傷がでる場合があります。

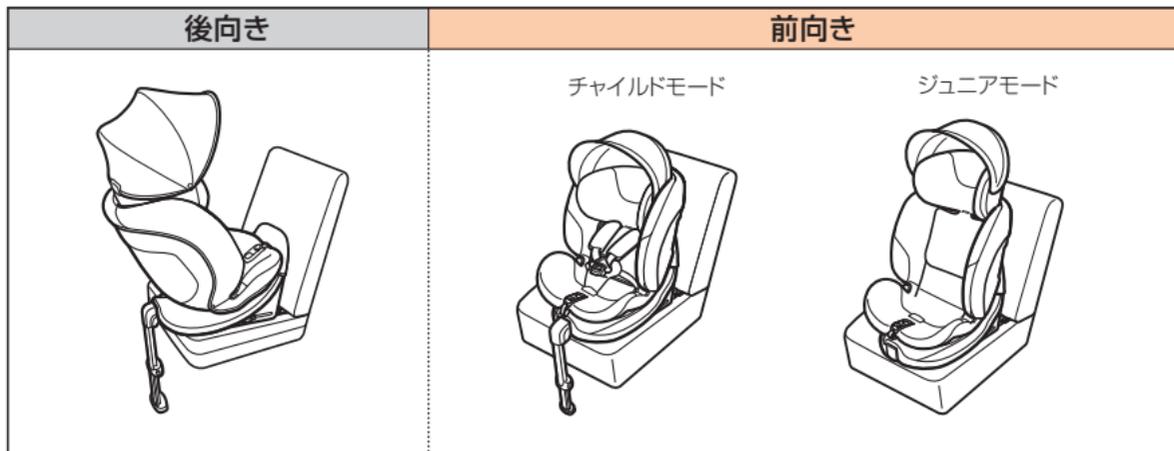
ワンポイント



「前向き」、「ジュニアモード」使用時にもお使いいただけます。

# 幌の使いかた

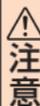
※取りはずした状態でも使用できます。



お手入れ・その他



幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触するおそれがあり危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。



- チャイルドシートを持ち運びするときは、幌を持たないでください。製品が破損する原因となります。
- 幌に、おもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。

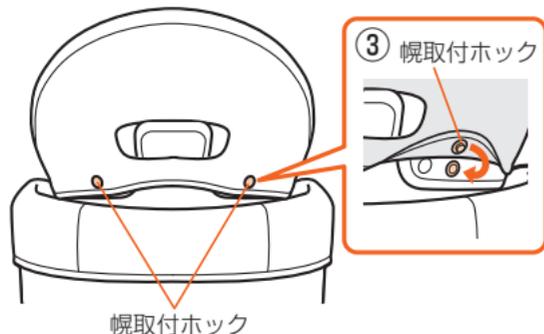
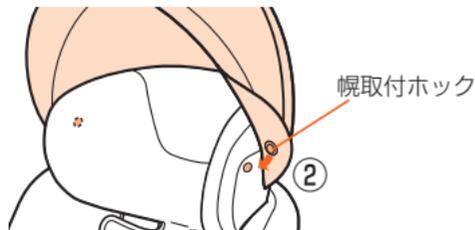
※ 幌は製品により、仕様が異なる場合があります。

※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

55 ※ 幌が車の内装に干渉する場合は、幌を使用しないでください。

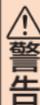
## 幌の取り付けかた

- ① 幌取付フックが見えるまで、ヘッドガードを引き上げる。(36ページ手順2参照)
- ② ヘッドガード側面(左右各1ヵ所)の幌取付フックをとめる。
- ③ 幌背面の左右の幌取付フック(2ヵ所)を、ヘッドガードカバーの幌取付フックに取り付ける。

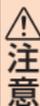


- ② 幌がしっかり固定されており、ヘッドガード側面(左右各1ヵ所)の幌取付フックと幌背面の左右の幌取付フック(2ヵ所)がヘッドガードに取り付けられていることを確認する。

- ③ 取りはずす際は、ヘッドガード側面の幌取付フックと幌背面の幌取付フックをはずしてください。



- 幌は誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触する場合があります。危険です。
- 幌取付フックをヘッドレストに必ず取り付けてください。フックがはずれた状態では絶対に使用しないでください



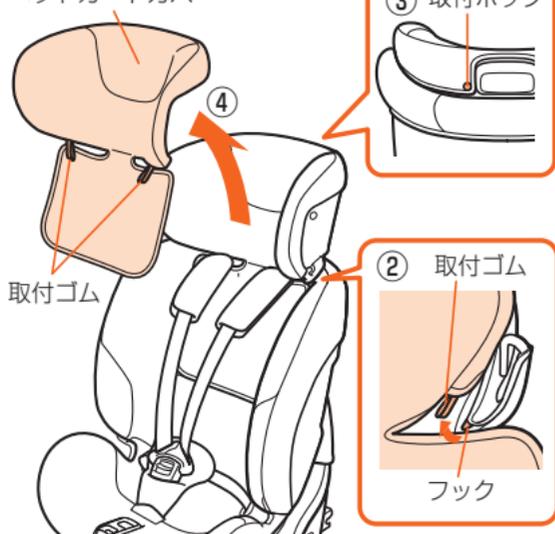
- 幌を開いたり小さくたたんだりするときは、お子さまや周囲の人にも気をつけて、指や手などをはさまないように注意してください。

# カバー・ウレタンの取りはずしかた・取り付けかた

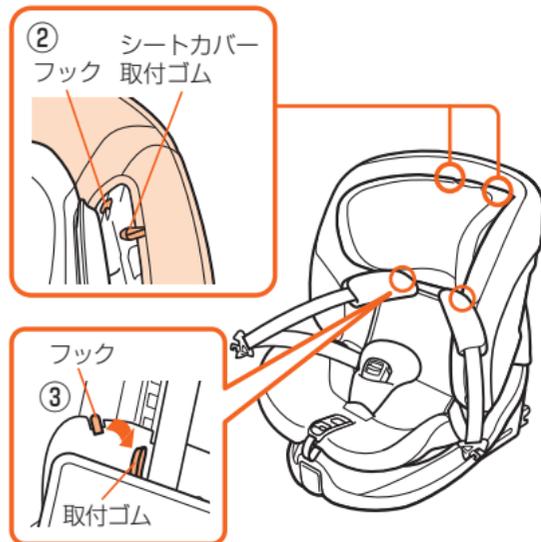
## ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

- ①ヘッドガードを最上段まで引き上げる。  
(36ページ手順2参照)
  - ②ヘッドガードカバーの取付ゴム(左右各1ヵ所)をはすす。
  - ③ヘッドガードカバー裏の左右の取付ホックを取りはずす。
  - ④ヘッドガードカバーを手前に引き出し取りはずす。
- ※取り付けは逆の手順で行ってください。

ヘッドガードカバー



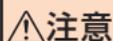
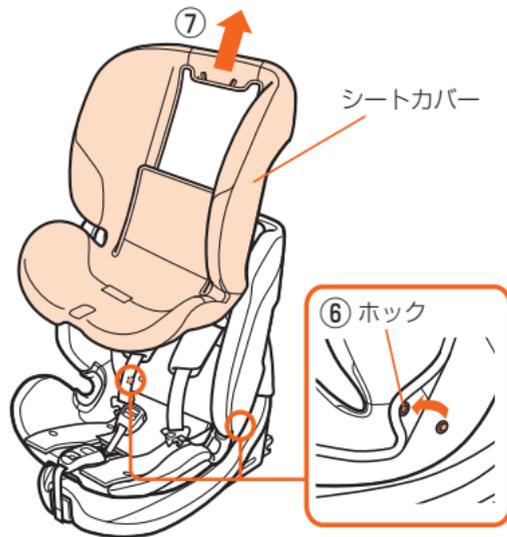
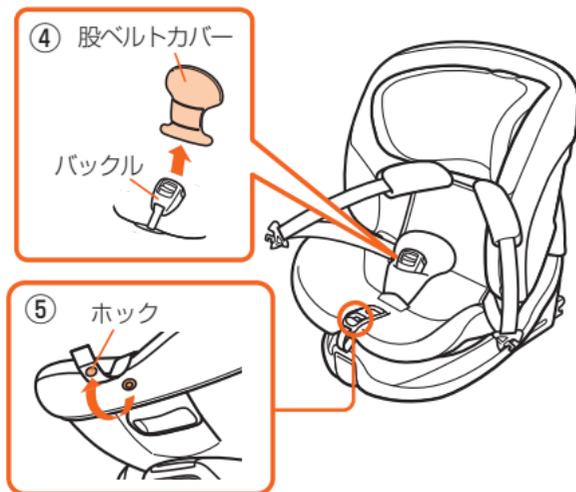
- ①ヘッドガードを最下段まで押し下げる。  
(36ページ手順2参照)
- ②シートカバー上部の取付ゴム(左右各1ヵ所)をはすす。
- ③シートカバー(背面)上部の取付ゴム(左右各1ヵ所)をはすす。



## シートカバーの取りはずしと取り付け

- ④股ベルトカバーを取りはずす。  
⑤調節ベルト先端のホックをははずす。

- ⑥シートカバー側面のホック(左右各1カ所)をははずす。  
⑦シートカバーを引き上げ取りはずす。  
※取り付けは逆の手順で行ってください。



注意

カバー類を着脱する際は、本体に取り付けられている発泡部品を破損しないよう注意してください。

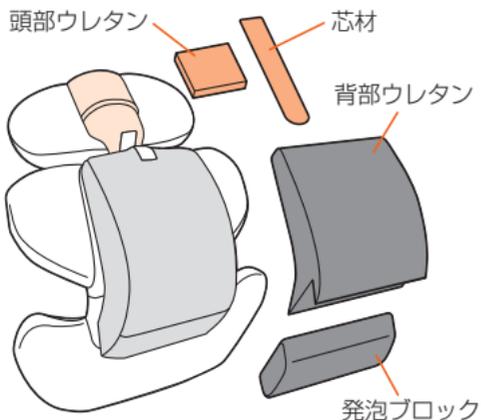
# カバー・ウレタンの取りはずしかた・取り付けかた

## インナークッションのウレタンと芯材の 取りはずしと取り付け

インナークッションの頭部と背部のポケットからウレタンと芯材を取りはずす、または取り付けする。

- 取りはずす際は、頭部は芯材を先にはずし、その後にウレタンをはずしてください。
- 背部は発泡ブロックを先にはずし、その後にウレタンをはずしてください。
- 取り付ける際は、逆の順番で取り付けてください。

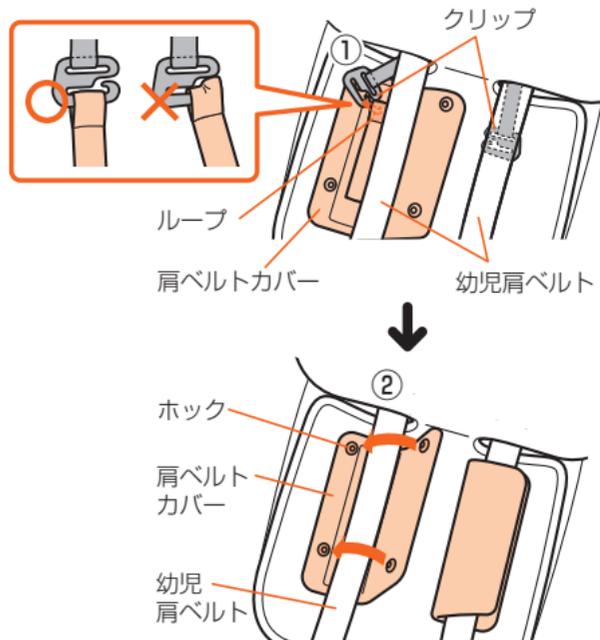
※ウレタンを取りはずす際は破れないようにご注意ください。



お手入れ・その他

## 肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け

- ①肩ベルトカバー内側のループを背もたれ上部のクリップに通す、またははずす。
- ②幼児肩ベルトに肩ベルトカバーを巻き付けホック(2カ所)の取りはずし、または取り付けをする。



※カバーは製品により、仕様が異なる場合があります。  
※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

# お手入れのしかた

## シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

### 洗濯上の注意

	液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		アイロン仕上げ禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		非常に弱い操作によるウエットクリーニングができる
	日陰のつり干しがよい		

- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 洗濯機をご使用の際は、お使いの洗濯機の取扱説明書をよくお読みの上、洗濯してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 干すときは十分にすすぎ、軽く脱水し、形をととのえてください。
- インナークッションを洗濯するときは、頭部と背部に入っているクッションと芯材を取りはずしてください。

## 幌のお手入れのしかた

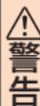
- 幌は液中につけず、洗剤を入れた水、またはぬるま湯をつけたスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品の特性上、若干色あせすることがあります。

## 本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落とすから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

### ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトを傷めるおそれがあり危険です。

# 保管・廃棄のしかた

## 保管のしかた

### 本体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光があたりず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

### 取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、シート背面のフタ内側にある取扱説明書収納ポケットに保管してください。(6ページ参照)

## 廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

### 製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。下記のホームページをご覧ください。

## 『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後12年」です。

標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。

不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート(領収書)と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

## 品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名	保証期間
ロットNo. (シート背面のフタ内側をご覧ください)	お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様	お名前
	お買い上げ日 年 月 日
販売店	ご住所 〒 TEL
	店名 TEL

修理メモ

### 保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
  - 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマーブラザにお送りください。
  - 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
    - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
    - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷やぶれ。
    - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
    - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
    - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
    - (f) 本書のご提示がない場合。
    - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等で使用され故障した場合。
    - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
  4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
  5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
  6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
  - 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
  - 領収書(レシート)を本書と一緒に保管してください。
  - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマーブラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
  - 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

**Combi**

コンビ  
クルムーヴ  
ロング plus

## コンビ株式会社

- ホームページ
- オンラインストア(部品購入窓口)

[combi.co.jp](http://combi.co.jp)  
[combi.co.jp/store](http://combi.co.jp/store)

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) /西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

\*コンシューマープラザホームページ [combi.co.jp/soudan](http://combi.co.jp/soudan)

199616180 26.4

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。